

遠くへ行ったあなたへ

ラジオネーム…塩砂糖

12月になると、あなたの事を思い出します。

それは、あなたの誕生日でもあるからでしょうか。

それとも、あなたが亡くなった月だからでしょうか…。

あなたがこの世からいなくなって、もう5年が経つんですね。

私は今、地元に戻って働いているけど、もしあなたが生きていたら…何処で、何をしていたのでしょうか？

あなたは都会に憧れていたような印象があったから、札幌で楽しく過ごしていたのでしょうか。

それとも、地元が恋しくなって函館に帰ってきて、目指していた事とは違う業界で頑張っていたのかも。

ふと、そんなことばかり考えてしまいます。

多分、自分が今後の人生について考えているからかもしれないね。

最近、遠方に住む同級生達といわゆる『リモート』で話す機会があったのですが、結論から言うと、私には焦りが生まれただけでした。

その中では一番最初に就職したのは私だったので、みんな何かしらの結果や業績を残しているのに、

私だけこれと言った大きな事をやり遂げた訳でもなく、ただ平行線を手を歩んでいるだけにしか思えなくて、

「このままでいいのかな」と思い始めました。

あなたは生前、私が相談を持ち掛ける度に

自分の事のように考えて、助言してくれましたね。

それが私にとってどれだけ救いになっていたのか。

あなたがいなくなった今、改めて痛感しました。

私は、あなたに甘えていたのですね…。

それではいけないし、あなたも天国で怒っているんじゃないかなと思うので、とりあえず自分の思うように

進んでみようと思います。

もし外れた道に進みそうなら…天国から何らかの形で

叱ってください。

進展したら、また手紙を書きますね。

リクエスト曲

へ 君って

／

西野カナ

く